

氏名	横 田 修
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 2459号
学位授与の日付	平成15年3月25日
学位授与の要件	医学研究科内科系神経精神医学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	NACP/ $\alpha$ -synuclein immunoreactivity in diffuse neurofibrillary tangles with calcification(DNTC) (石灰化を伴う瀰漫性神経原線維変化病におけるNACP/ $\alpha$ シヌクレインの免疫染色性)
論文審査委員	教授 小川 紀雄 教授 阿部 康二 教授 筒井 公子

#### 学位論文内容の要旨

$\beta$ アミロイドの沈着を欠く稀なタウオパチーである石灰化を伴う瀰漫性神経原線維変化病 (DNTC) について、 $\alpha$ シヌクレインの異常沈着があるかどうかを免疫組織化学的手法を用いて定量的に検討した。その結果、DNTC8 例中 7 例で広範かつ大量のレビー小体形成を含めた $\alpha$ シヌクレインの異常沈着が観察された。扁桃核、海馬周辺、側頭前頭葉皮質、黒質、迷走神経背側核にレビー小体、レビー変性神経突起が好発していた。更に $\alpha$ シヌクレイン中央領域である NAC 様エピトープ陽性のアストロサイトが海馬から側頭前頭葉皮質に無数に出現していた。 $\alpha$ シヌクレイン凝集は NFT を有する神経細胞にしばしば共存していた。これらの結果はレビー小体を含む $\alpha$ シヌクレイン病変は DNTC の主要な病理学的特徴であること、神経細胞以外にアストロサイトにも $\alpha$ シヌクレイン病変が及ぶこと、DNTC において $\alpha$ シヌクレインはタウ凝集に引き続いて凝集する可能性があることを示唆している。

#### 論文審査結果の要旨

本研究は、石灰化を伴う慢性神経原線維変化病の免疫組織学的検討によって、 $\alpha$ シヌクレイン陽性のレビー小体、レビー変性神経突起、神経原線維変化と共存する $\alpha$ シヌクレイン凝集沈着、さらには $\alpha$ シヌクレイン中央領域であるNAC様エピトープ陽性アストロサイトが広範な脳部位に存在することをはじめと示したものである。この研究成果は本疾患の神経変性の病態の特性について重要な新知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。